

1. <施策の概要>

基本構想	安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり	統括課	健康福祉環境部・福祉課
基本計画	高齢・障害福祉		
施策	高齢福祉(福祉課)	関連課	
方針・目標等	◆健康づくり・介護予防の推進 ◆高齢者の社会参加促進 ◆医療費助成による経済的負担の軽減 ◆高齢期を 楽しみ介護が必要になったときに安心できるまち		
実施内容	◆高齢期の社会参画機会の拡充 ◆地域包括ケアシステムの構築強化 ◆安定した介護保険制度の運用 ◆認知症対策の強化 ◆家族介護支援の充実		

2. <指標の設定>

①	重点	指標	単位	他団体比較		算式・引用等	
				団体名	実績/年度		
①	○	高齢者人口(65歳以上)	名	木津川市 14,516	25	住民基本台帳(各年 4月1日現在)	
②	○	要介護(支援)認定者率(認定者数÷第1号被保険者数)	%	木津川市 15.9	25	福祉課調べ	
③	○	老人クラブ会員数	名	木津川市 4,748	25	福祉課調べ	
④	○	2次予防対象者率(2次予防対象者数÷回答者数)	%	木津川市 21.8	25	福祉課調べ	
⑤	○	シルバー人材センター会員数	名	木津川市 413	25	福祉課調べ	
		H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(試算)	H27(試算)
①	目標	5,996	6,145	6,500	6,800	7,372	7,874
	実績	5,996	6,145	6,449	6,913		
②	目標	16.2	16.2	16.5	16.0	15.2	15.1
	実績	15.5	15.1	15.0	15.3		
③	目標	2,361	2,371	2,380	2,400	2,300	2,300
	実績	2,361	2,371	2,374	2,301		
④	目標	3.7	23.4	23.5	20.9	18.5	18.0
	実績	3.7	22.9	20.1	18.2		
⑤	目標	385	345	321	350	390	400
	実績	385	345	321	313		

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率(65歳以上) : H25年4月1日現在 精華町 18.7% 木津川市 20.1% ・老人クラブ会員数において、高齢者人口の約半数がクラブ会員ではない。加入しない要因として、まだまだ現役の働き盛りと考えている人が多いのかどうかを検証する必要がある。 ・また、雇用の面では、高齢化が進む中で、シルバー人材センターが担う役割は大きく、会員数がここ数年減少してきているので、あらゆる機会を利用して普及啓発活動を展開していく必要があると思われる。今後、介護保険利用者と元気高齢者の狭間にいる高齢者に対する事業展開が課題である。
--

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防につながる施策は展開しているものの、情報の周知等、十分とは言えない。 ・いきいきサロンの利用が進んでいるので、今後、未実施地域に対しても啓発を進めていく。 ・介護保険制度の改正により、今後ますます地域住民が主体となった生活支援が必要になるため、そのあり方を検討する必要がある。

4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
			H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(予算)	H27(試算)
1		福祉課	9,453	9,709	7,715	6,593	10,472	10,472
		老人ホーム等入所措置費	8,392	8,668	6,571	5,491	9,370	9,370
		一般事業 105	6,892	7,242	5,811	5,037	8,410	8,410
2	○	福祉課	9,897	8,413	8,777	7,681	8,744	8,744
		精華町敬老会	7,871	5,148	5,605	5,448	6,511	6,511
		一般事業 105	0	0	0	0	0	0
3		福祉課	6,521	4,844	6,126	5,863	5,867	5,867
		老人クラブ助成事業	3,050	3,050	3,051	3,097	3,101	3,101
		一般事業 107	986	985	1,069	1,243	1,035	1,035
4	○	福祉課	11,765	11,751	11,692	11,396	14,197	14,197
		高齢者居宅生活支援事業	8,311	8,143	7,392	7,251	10,052	10,052
		一般事業 107	8,311	8,143	7,392	4,681	9,752	9,752
5		福祉課	7,062	7,370	7,859	7,042	7,042	7,042
		シルバー人材センター運営支援事業	6,320	6,320	6,320	6,320	6,320	6,320
		一般事業 107	6,320	6,320	6,320	6,320	6,320	6,320
6		福祉課	1,891	1,843	376	1,884	1,907	1,907
		介護サービス利用支援事業	32	21	20	21	44	44
		一般事業 107	23	21	20	21	29	29
7	○	福祉課	262,900	276,643	275,127	295,397	316,601	316,601
		介護保険事業特別会計繰出金	260,164	273,525	274,771	292,631	313,835	313,835
		一般事業 107	260,164	273,525	274,771	292,631	313,835	313,835
8	○	福祉課	4,002	3,869	4,311	3,983	3,698	3,412
		高齢者福祉施設整備支援事業	3,739	3,453	3,167	2,881	2,596	2,310
		一般事業 109	0	0	0	0	0	0
9								
10								

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・必要に応じた事業運営はできているが、サービス事業の啓発も含めて、まだまだ情報など周知が少ないように感じている。今後、高齢者に対する意識改革をするような新しい事業を見出す必要があると考えられる。

・いきいきサロンの全町域への拡大を進めていく必要がある。

・2次予防事業対象者把握事業の分析においては、その方の経年経過の結果表を送付している。

5. <施策の今後の方向性>

・高齢者の声に耳を傾け、サービス向上を図る必要があると感じつつも、今後、増え続ける高齢者人口と町財源が、どうバランスよく運用できるかが検討課題といえる。

・介護予防の充実に向けて、対象者が魅力を感じる予防講座等の内容充実を図る必要がある。

・元気な高齢者を増やし、様々な事業に参画していただくことにより、健康づくりにつなげてもらう。